今月の調整額

前月比　＋26.1円　(m3あたり)

各指標

中東コスト(70%)	当月 CP（$/ﾄﾝ）	前月 CP($/ﾄﾝ)	中東フレート ¥/ﾄﾝ	前月 TTS(¥/$) (1日～月末)
	720	680	20200	
米国コスト (30%)	前月 MB（$/ﾄﾝ）	米国調達経費 ($/ﾄﾝ)	北米フレート ¥/ﾄﾝ	158.98
	544.77	90.00	30300	
2026/11月 原料価格（¥/ﾄﾝ）	131404.9			

CP…サウジアラムコ(サウジアラビアの国営石油会社)が決定したLPガスの輸入契約価格。急激な変動を緩和するため、2か月平均値(＝合成CP)を採用。

MB…OPIS社が発表するモントベルビュー市場における取引価格。月平均値を採用。

北米調達経費…積み出し港までの輸送費用、本船への積み込み費用 、パナマ通航料等。

TTS…電信売相場。輸入代金支払のため、銀行で円をドルに交換する際の為替レート。

中東フレート、北米フレート…輸入タンカーの海上運賃等。

産気率…重量（Kg）単位から体積（㎥）単位への変換率。=0.482（m^3/kg）

原料調整制度について

（１）制度の概要

本制度では､前月の LP ガスの輸入価格と基準となる原料価格(基準原料価格)を比較し、その変動分について、あらかじめ定められた算定方法により毎月ガス料金の従量単価を調整いたします。**毎月の検針票で調整後の金額をお知らせいたします**。また、毎月の指標が発表され次第、ホームページ上で最新の調整額を速やかに公表いたします。　（以下、断わりの無い限り税抜き表示、また計算は計算機による最終計算結果を小数点 2 桁以下の四捨五入で処理いたします。）

（２）調整額および、ガス料金の算出式

ガス料金（円/m³)=基本料金(円）＋
(基準従量単価（円/m³）±調整額（円/m³)）×使用量（m³)

調整額（円/m³)=(当月原料価格（円/トン）－ 基準原料価格 （円/トン))
÷1000 (kg)÷産気率 (m³/kg)

＊当月原料価格…以下の算出式によります。

{(合成 CP(＄/トン)×TTS(円/＄)＋中東フレート(円/トン）}×0.70
＋{(MB(＄/トン)＋北米調達経費(＄/トン))×TTS(円/＄)＋北米フレート(円/トン)}×0.30

＊基準原料価格…制度導入の基準月（2019 年 2 月）の原料価格。53454.80 円/トン
＊基準従量単価…制度導入時初期設定する従量料金単価。

なお、原料費以外の経費の変動等により、上記料金の見直しを行う場合があり、その際は文書にて事前に通知させて頂きます。また消費税率変更の際は検針票にてご案内いたしますのでご了承下さい。